

morinos カフェ番外編ー軽井沢風越学園大解剖!? あらたな学び場づくりの挑戦

(チャットに書かれた質問・コメントで、当日中に答えられなかったことへの回答)

Q1：風越の入学のために移住された方はどれくらいですか。

A1：もともと移住しようとしていたのか、風越入園入学のためなのか、調査していないのでそこまではわかりません。

Q2：先生方の年齢構成、家庭を持っている方はご家族で移住したのですか。

A2：スタッフの年齢は様々です。20代、30代、40代、50代みんないます。30～40代が一番多いです。スタッフも家族と共に移住した人もいますし、もともとこちらに住んでいた人もいます。

Q3：中学生の部活動はありますか。

A3：学校で作った部活はありません。子どもや保護者が手をあげてやりたい人が集まってしている活動はあります。バレー部、バスケットボール部、ダンス部、生き物飼育をしている人もいるのだけれど、それは部活動なのかな？と、好きなもので集まっているいろいろな人たちがいます。

Q4：発達障害などのお子さんもおられますか。

A4：「発達障害」という枠で捉えるというよりは、診断に関わらず困っている人、支援が必要な人に対してスタッフ、保護者の方、子ども自身と相談しながら生活、学びのサポートをしています。

Q5：ライブラリースタッフとの連携はどのようにしているのですか。

A5：読書の選書や貸し出しのことなど、子どもたちの様子を伝えあったり、プロジェクトでの活動をサポートしてもらったりしています。風越学園では、ホームのスタッフ、ライブラリーのスタッフと名前がついていますが、役割としてははっきりと分かれてはいなくて、一緒に子どもたちを見ている同じスタッフという関係性になっていると思います。

Q6：他人に教えるという行為は自身の学びの方法の一つだと思いますが、大きい子達が主体となって小さい子達に教えるような場(時間)はありますか？そのときにうまく進めさせるための工夫、苦勞があればおしえてください。

A6：算数の時間は1年生から4年生、3年生から7年生が混ざり合って学んでいるため、同じ進度の子ども同士で確認したり、上の学年の子に下の学年の子が聞いたりすることはあります。気軽に「助けて」と言える関係性をつくるのが大切なのだろうな、

と感じています。関係性をつくるためには、同じ時間を共有するだけではなくて、「○○さんに聞いてみたら？」と大人が意識的に子どもと子どもをつないでいくことも必要だと感じています。

Q7：評価について、どのように評価しているのですか。

A7：評価については、試行錯誤の真っ只中です。私達スタッフの見とりに加えて、子ども自身が自分の成長を自己評価していく必要があると考えています。今年度、後期の子どもたちは、年に二回、子どもが自分の学んだことを振り返り、スタッフと保護者に伝える「自分プレゼン」を行っています。その際、スタッフからも子どもにフィードバックしたり、学びや成長を価値づけたりしています。また、日々の活動の様子や成長を感じたことについて、typhoonを通じて保護者の方と共有することもまた、評価であるにとらえています。

Q8：「民主的な文化を作る」ミーティングなどされているようですが、何をどこまで子どもに決定権があるのでしょうか？逆に言えば子どもたちに決められないことはありますか。

A8：学校運営として必要なこと、例えば始まる時間や終わる時間などは決まっていますが、それも活動によって流動的になることもあります。すでに決まっていることでも、子どもが疑問に思ったり、変えたいと思ったなら、なんでそうなっているのかを一緒に話をするとと思います。可能なことで必要なことは一緒に話をしながら変えていったり、残していったりすると思います。

Q9：文科省からのバックアップとか連携ってあるんでしょうか？

A9：文科省から直接のバックアップや連携はありません。

Q10：遊びから学びが起きること、例えば図工で夢中になって表現したい気持ちから道具の使い方を知ろうとするとかが、なかなか現状では、親の理解が得られないのではないか。

A10：遊びの中やつくることの中にはたくさんの学びがあって、それを私たちスタッフが保護者に伝えられることから変わっていくのかなと思っています。エピソードでも紹介しましたが、「つくるえがく」という図工のような時間に箱を使って何かを作ることからすでに図形や立体について実体験の中で経験として学んでいます。それは知識と言うよりどちらかというと感覚や体を通してわかった知恵のようなものなのですが、それがあの上での知識と、知識だけあることとではその子にとっての本当の「わかる」ということの深みが違うと思うんです。そういったことを私たちスタッフが保護者に伝えながら、子どもたちの育ちを共有できるようにしていことも必要なのだと思います。